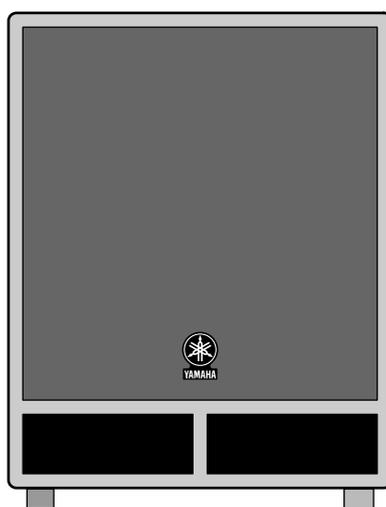




SUBWOOFER

SW500

取扱説明書



このたびは、ヤマハサブウーハーSW500をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。SW500は、バスレフ式キャビネットに38cm(15インチ)コーンスピーカーを採用し、良質でパワフルな低音域の再生を可能にするパワードサブウーハーです。SW500の優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。お読みになったあとは保証書とともに保管してください。

目次

! 安全上のご注意	安全にお使いいただくため	2	総合仕様	6
! 安全上のご注意	正しくお使いいただくため	3	スピーカー部	6
リアパネル		4	アンプ部	6
接続例		5	寸法図	6
仕様		6	ブロックダイアグラム	7
			特性図	7
			サービスについて	8

！安全上のご注意

安全にお使いいただくため

安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。またお読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保存してください。

絵表示 この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



：注意(危険・警告を含む)を促す事項



：決しておこなってはいけない禁止事項



：必ずおこなっていただく強制事項

プラグをコンセントから抜く

警告

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

設置されるとき	
	<p>この機器はAC100V専用です。それ以外の電源(AC200V、船舶の直流電源など)では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器に水が入ったり、機器がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天・降雪時や海岸・水辺での使用はとくにご注意ください。</p> <p>この機器の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災・感電の原因となります。</p> <p>電源コードの上に重い物をのせないでください。コードに傷が付くと、火災・感電の原因となります。とくに、敷物などで覆われたコードに気付かず重い物を載せたり、コードが本機の下敷きになることのないよう、十分にご確認ください。</p>
	<p>この機器には付属の電源コードをご使用ください。それ以外のものを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>この機器は電源スイッチを切った状態でも完全に主電源が遮断されていませんので機器を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。</p>
ご使用になるとき	
	<p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>この機器の裏ぶたやカバーは絶対に外さないでください。感電の原因になります。内部の点検・整備・修理が必要と思われるときは、販売店にご依頼ください。この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>雷が鳴りだしたら、早めに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
	<p>落雷のおそれがあるとき、電源プラグが接続されたままならば、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。</p>
使用中に異常が発生したとき	
	<p>断線・芯線の露出など、電源コードが傷んだら、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>煙が出る、変なにおいや音がするなどの異常がみとめられたときや、内部に水などの異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、販売店にご連絡ください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>

⚠️ 注意

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性があります。

設置されるとき	
 <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。必ずプラグを持ってください。コードを引っ張ると、電源コードが傷ついて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p> <p>左右のハンドルを吊り下げに使わないでください。落下などの事故の原因となります。十分ご注意ください。</p>	サブウーハー-SW500にはスピーカースタンド取付け用のメタルソケットがあります。スタンドポールの高さは1m以下のものをご使用ください。
 <p>オーディオラックなどに入れるときは、放熱をよくするために、壁や他の機器との間に隙間をとってください。隙間の大きさは、側面では20cm、背面では25cm、天面では30cm以上必要です。</p> <p>さらにラックの背面を開放するか、もしくはラックの背面に相当の通風孔を開けてください。</p> <p>放熱が不十分だと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p> <p>この機器は重いので、持ち運びは必ず2人以上でおこなってください。</p>	ご使用になるとき  <p>オーディオ機器・スピーカーなどを接続する場合は、接続するすべての機器の電源を切ってください。</p> <p>それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のコードを使用して接続してください。</p> <p>電源を入れる前に音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>
	 <p>スピーカーを音がひずんだ状態(CLIPインジケーターが頻繁に点灯する状態)では、使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。</p> <p>不快に感じるような大音量では、使用しないでください。この機器は大音量での使用により、聴覚障害を引き起こす恐れがあります。</p>

! 使用上のご注意

正しくお使いいただくため

コネクタの極性について	携帯電話からの影響について
XLRタイプコネクタのピン配列は次のとおりです。 1: シールド(GND)、2: ホット(+)、3: コールド(-) これは、IEC60268規格に基づいています。	この機器のすぐ近くで携帯電話を使用すると、本機にノイズが入ることがあります。そのようなときは、少し離れた場所で携帯電話をご使用ください。

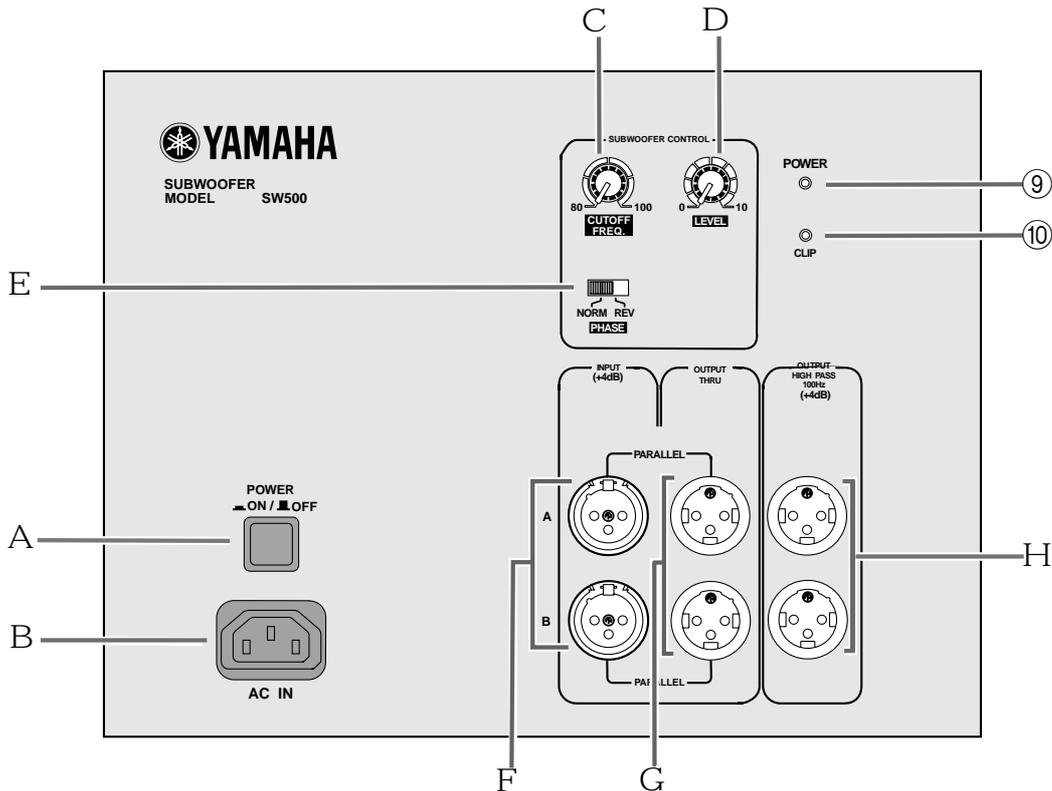
! トラブルシューティング

使用時に電源が切れる場合

本機はCLIPインジケーターが頻繁に点灯する状態で長時間使用しますと電源トランスに内蔵されている温度スイッチが動作して電源が切れます。その場合はPOWERスイッチを切り、電源トランスの温度が十分下がるまで(約1時間)待ち、入力レベルを下げて使用してください。

CLIPインジケーターが時々点灯する程度までレベルを下げてください。

リアパネル



1 POWER スイッチ

SW500の電源をオン、オフするスイッチです。オンにすると、POWERインジケーター(9)が緑色に点灯します。

2 AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

3 CUTOFF FREQ. (カットオフ周波数)コントロール

カットする周波数を調節します。組み合わせるスピーカーや好みに合わせ、80 ~ 100Hzの範囲でカットする周波数を設定します。

4 LEVEL (レベル)コントロール

本機の音量を調節します。10の目盛りで最大、0で最小レベルです。レベルが高すぎるとCLIPインジケーター(J)が赤く点灯します。その場合はレベルを下げて使用してください。

5 PHASE (フェーズ)スイッチ

位相を切り替えるスイッチです。通常は「NORM」で使用しますが組み合わせるスピーカーや設置場所によっては「REV」の方が低音域再生が良好になる場合があります。試聴をして最も好ましい低音域再生になる方を選んでください。

6 INPUT A、B 端子

バランス型の入力用XLRタイプコネクタです。本機には同時にAとBの2系統の信号が入力できます。A、B 2系統の信号を同時に入力した場合は、内部でミックスされます。INPUT A、B端子に入力された信号はそれぞれOUTPUT THRU A、B端子とOUTPUT HIGH PASS A、B端子に送られます。

7 OUTPUT THRU A、B 端子

バランス型の出力用XLRタイプコネクタです。もう1台のサブウーハーに接続し本機のINPUT A、B端子に入力された信号をそれぞれこの端子から同時に出力します。

8 OUTPUT HIGH PASS A、B 端子

バランス型の出力用XLRタイプコネクタです。メインスピーカーに接続し、本機のINPUT A、B端子に入力された信号を100Hz以下をカットして、それぞれA、B端子から出力します。

9 POWERインジケーター

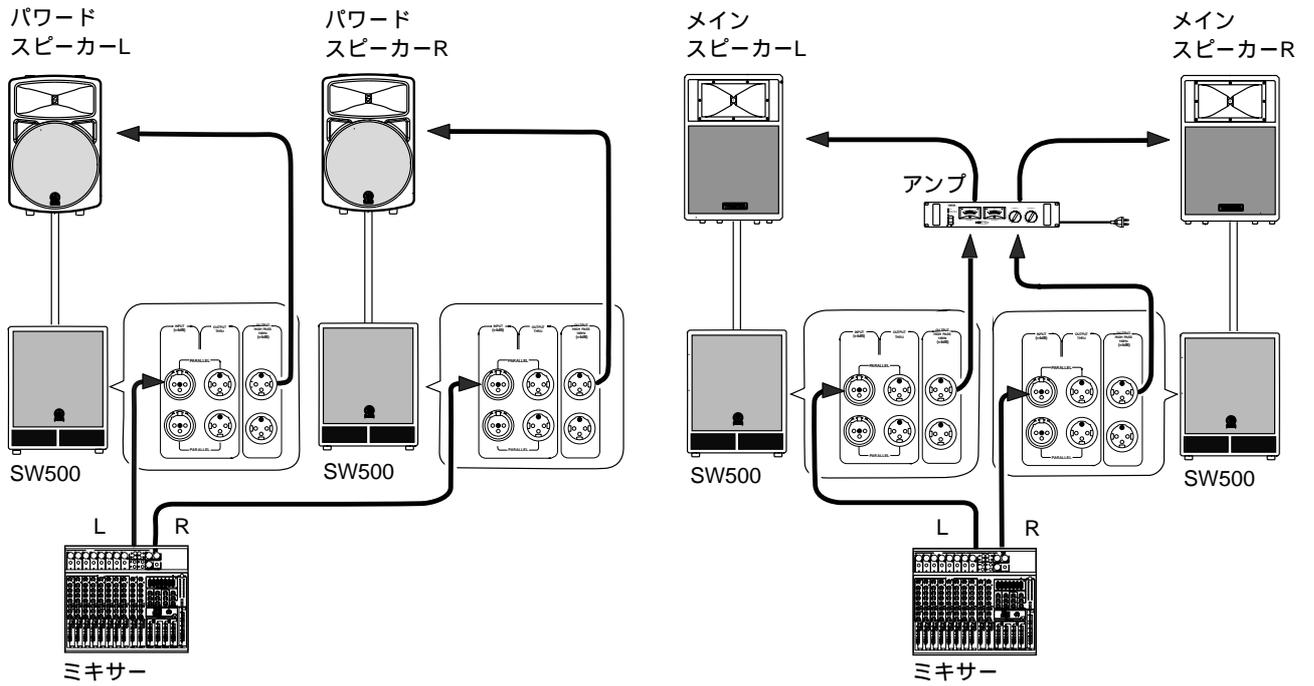
POWERスイッチで電源をオンにすると緑色に点灯します。

J CLIP (クリップ)インジケーター

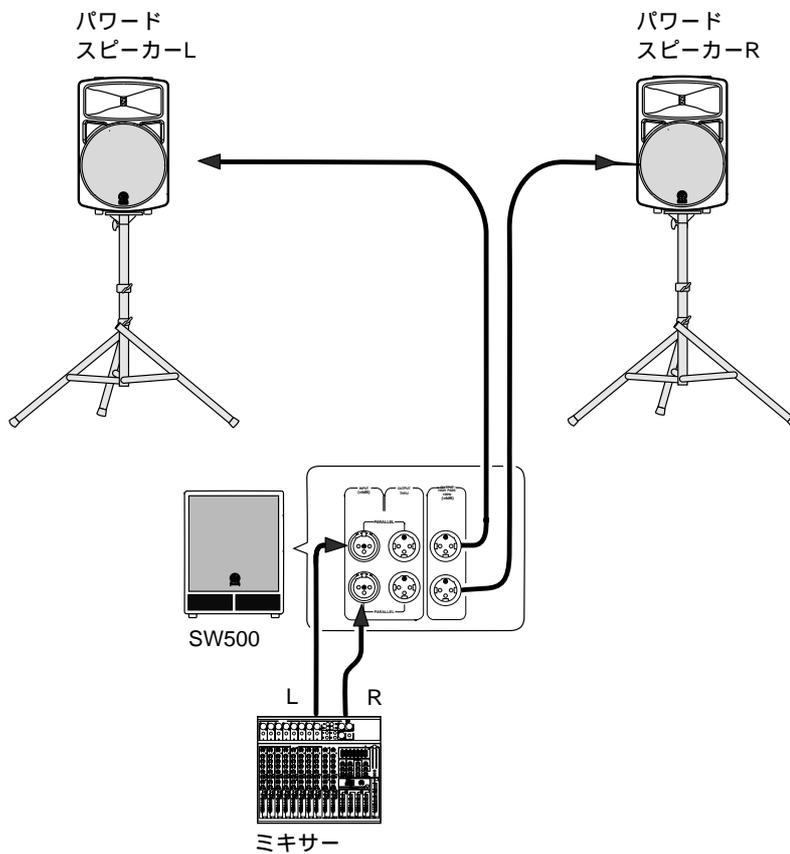
本機の出カレベルが高すぎる場合に赤く点灯します。その場合はLEVELコントロールでレベルを下げるか入力のレベルを下げてください。

接続例

SW500 2台で使用する場合



SW500 1台で使用する場合



仕様

総合仕様

形式

バスレフ型 パワードサブウーハー

再生周波数帯域

40 ~ 120Hz (- 10dB)

最大出力音圧レベル

122dB(軸上1m)

最大外形寸法(W × H × D)

480 × 619 × 590mm

重量

37kg

適合ポール径

35mm(1.375")

付属品

電源コード2.5m(ACインレットタイプ)

スピーカー部

スピーカーユニット

38cmコーン(8)

エンクロージャー

方式:バスレフ型

アンプ部

定格最大出力

500W at 100Hz, THD = 1%, RL = 8

650W at 100Hz, 20ms nonclip RL = 8

入力感度 / インピーダンス

+ 4dB/30k (チャンネルA,B)

コントロール

LEVELコントロール

CUTOFF FREQ.コントロール:80 ~ 100Hz(可変)

PHASEスイッチ(REV/NORM)

POWERスイッチ:ON/OFF

コネクター

INPUT A,B(XLR-3-31) , OUTPUT THRU A,B(XLR-3-32)

OUTPUT HIGH PASS A,B(XLR-3-32)

POWERインジケータ

緑色LED

CLIPインジケータ

赤色LED

電源

AC100V、50/60Hz

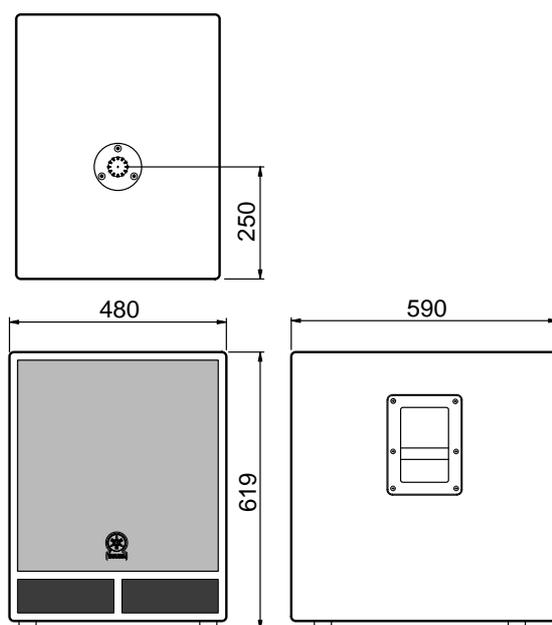
消費電力

200W

* 0db = 0.775V

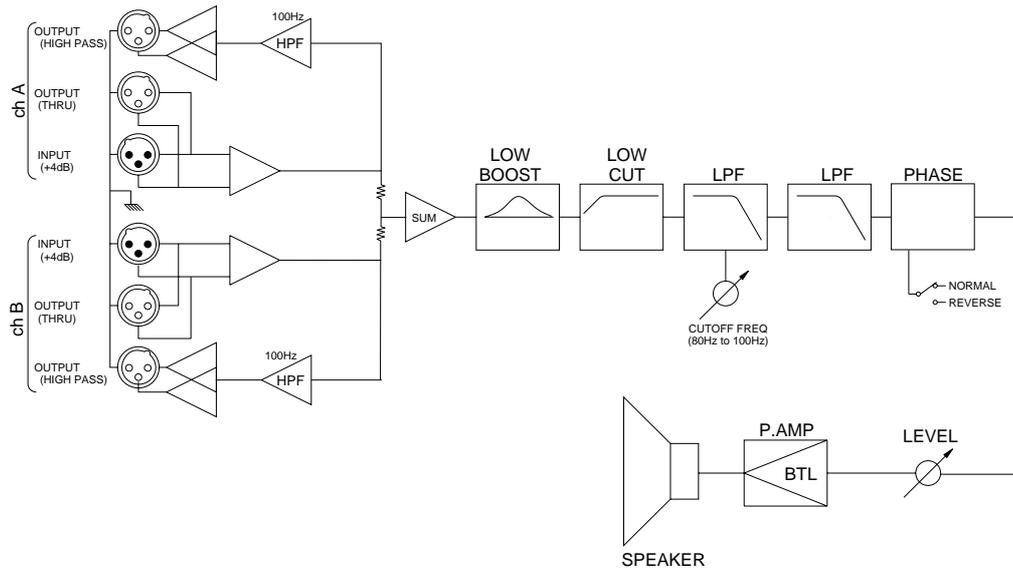
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

寸法図



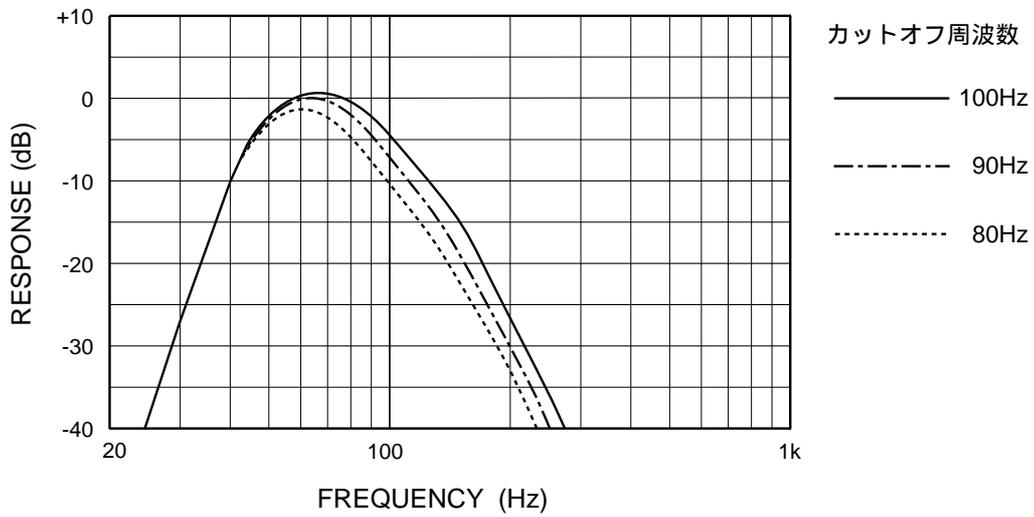
単位 : mm

ブロックダイアグラム



特性図

標準周波数特性



サービスについて

保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめの上、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間はご購入日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

損害に対する責任

この商品(搭載プログラムを含む)の使用または使用不能により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

調整・故障の修理

「故障かな?と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理に際しては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのもかも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいし、PA製品ではその最低保有期間は製造切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。

お客様ご相談窓口

ヤマハPA製品に関するご質問・ご相談は下記のお客様ご相談窓口へ、アフターサービスについてのお問合わせはヤマハ電気音響製品サービス拠点へおよせください。

お客様ご相談窓口：ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

Tel: 03-5791-7678 Fax: 03-5488-6663 (電話受付 = 祝祭日を除く月～金 / 11:00～19:00)

E-mail: painfo@post.yamaha.co.jp

EM営業統括部(営業窓口)

PA営業部

東日本営業所	☎ 03-5488-5480	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11
PA北海道	☎ 011-512-6113	〒064-0810	札幌市中央区南十条西1-1-50
PA仙台	☎ 022-222-6214	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10
西日本営業所	☎ 06-6252-5405	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9
PA名古屋	☎ 052-232-5744	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28
PA九州	☎ 092-412-5556	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4

営業推進課(プロオーディオ) ☎ 03-5488-5472 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

PA・DMI事業部

PE営業部PA国内推進室 ☎ 053-460-2455 〒430-8650 浜松市中沢町10-1

ヤマハ電気音響製品サービス拠点：修理受付および修理品お預かり窓口

北海道サービスステーション	☎ 011-512-6108	〒064-8543	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台サービスステーション	☎ 022-236-0249	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F
首都圏サービスセンター	☎ 03-5762-2121	〒143-0006	東京都大田区平和島2-1-1 京浜トラックターミナル14号棟A-5F
浜松サービスステーション	☎ 053-465-6711	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場6号館2階
名古屋サービスセンター	☎ 052-652-2230	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
大阪サービスセンター	☎ 06-6877-5262	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内
四国サービスステーション	☎ 087-822-3045	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
広島サービスステーション	☎ 082-874-3787	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14
九州サービスステーション	☎ 092-472-2134	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社/CSセンター	☎ 053-465-1158	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場6号館2階

所在地・電話番号などは変更されることがあります。
2001年9月現在